



## しんまい図鑑

サシ

サシは、新聞紙面のレイアウトを考える時に使う、ものさし。「サシ」と呼ばれています。

25 くらし

2014年(平成26年)11月22日 土曜日

信濃毎日新聞

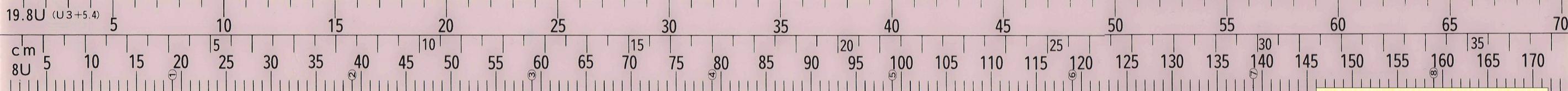
第三種郵便物認可

みなさん、信毎の紙面の1ページが端から端まで何行か、1段に何文字入っているか、数えたことがありますか？現在の信毎紙面は、基本的に71行で1段に13文字入っています。

魚  
あい。  
の及  
及ぼす  
大  
掃除  
の  
ん  
か  
に  
情  
安  
不  
怒  
り  
怒  
マ

バレからだ、

上の自盛りは、新聞の1行の幅。だから自盛りは70まで！

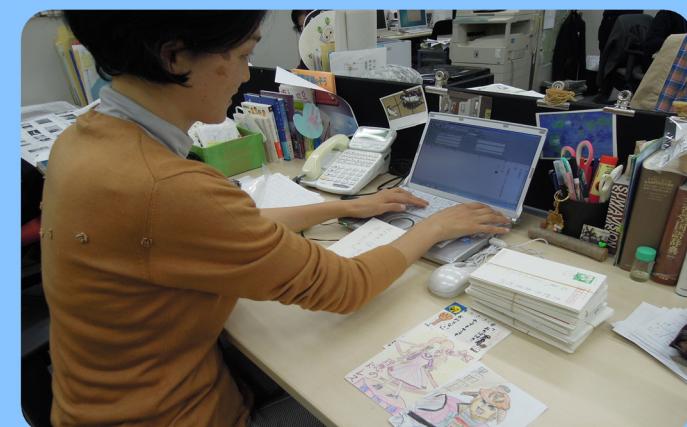


今年は真最南  
方々と一段と親  
機会に恵まれ  
に浸りました。  
駅でも柚子、  
られ、「柚子が  
伸びます。県北  
うやましいな  
にどうては、本

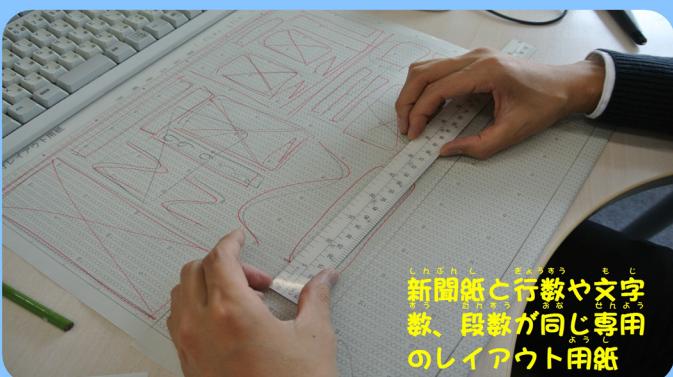
温故知くらべ

下の目盛りは、「倍」という、新聞の字の大きさの単位で刻まれています。  
見出しの字や、写真の大きさを決める時に使います。  
1段の大きさは19倍だよ。

編集局には、いろんな分野の記者がいて、その日取材し書いた記事が出されます。それを「政治面」「地域面」などページごとに分け、読みやすいようにレイアウトし紙面をつくるのが整理部の仕事。1ページを1人が担当します。新聞紙面の大きさは決まっていて、次の日の朝刊を作る時間は限られています。だから、正確なレイアウトをするために整理部にとって「サシ」はとても大切なのです。



**飯島で避難食の調理講座**  
2.5倍 災害想定の食材や器具活用  
3倍 1段に13字  
19倍



担当者（「面担」といいます）は、たくさん届く情報を基にして、記事や写真の配置を考えます。

「このぐらいかな」なんて考えながら、まず大ざっぱにレイアウト。そして、「サシ」を当てるながら、だんだん細かく正確な線を引いていきます。

新聞紙と行数や文字数、段数が同じ専用のレイアウト用紙



記事や写真を、専用のコンピューターシステムを使ってレイアウトに沿った形に組んでいきます。写真では、組んでいる途中の紙面が映っていますね。

この4点が必要品です。

子ども新聞「わくわく恐竜探検」でおなじみの真鍋真さん（国立科学博物館）と、県秀彦さん（国立天文台・長野県出身）が監修しています。

おりたたみの絵本を広げていくと、長さは2.8メートルになります。宇宙の広がりをえがいた「うちゅう面」と、生命のあゆみをえがいた「いのち面」があります。

「ずーっと、とおくへ」のやじるしにしたがってめくっていくと、どんどん私たちから遠ざかって、さまざまな天体があらわれてきます。最後は、137億光年の宇宙のはてです。

「ずーっと、むかしへ」のやじるし

にしたがってめくると、今度は地球生命の137億年のあゆみをたどる時間の旅ができます。恐竜の時代も登場しますよ。

そう大な宇宙の広がりと生命のあゆみを実感してみましょう。

(句報社・2300円+税)



「パンラマえほん うちゅうといのち」



本  
の  
と  
び  
う